

目次

口絵 小宮山楓軒肖像

『水戸の人物』シリーズ刊行に当たって……水戸史学会第二代会長 名越時正 1

はじめに…………… 11

一 小宮山楓軒の出自…………… 15

1 小宮山内膳正友信…………… 15

2 内膳正友信の後裔…………… 17

(1) 正的休庵(止齋)…………… 17

(2) 昌郷峴嶽…………… 18

(3) 昌嶠桂軒(忍亭)…………… 18

(4) 昌徳東湖…………… 21

	(5)	楓軒夫人稲垣香	24
		3 楓軒の孝養	27
	(1)	父昌徳	27
	(2)	母細金佐野	28
		4 楓軒の後裔	29
	(1)	昌堅	29
	(2)	昌玄南梁	30
		小宮山楓軒略系図	31
		二 彰考館(史館)時代	32
		1 立原翠軒	33
	(1)	師立原翠軒	33
	(2)	藤田幽谷の台頭	36
		2 「大日本史」編纂事業	40
	(1)	立原翠軒と藤田幽谷の対立	40
	(2)	史館動揺	44

3	楓軒の学問	49
(3)	小宮山楓軒と藤田幽谷	46
3	水戸吉田神社に三つの立願	49
(2)	楠木正成と南朝への崇敬	50
(3)	高山彦九郎を記録	52
4	交流人物の評価	53
5	楓軒の著述	63
三	郡奉行(郡宰)時代	66
1	紅葉陣屋への赴任	66
2	郡政の姿勢	70
(1)	「精・慎・勤」について	70
(2)	西野孝平筆記	73
(3)	絵入り寺西八ヶ条	75
3	具体的施策	81

	(1)	植林事業	83
	(2)	育子策	85
	(3)	「農民懲誠篇」の配布	86
	(4)	「水府志料」の編纂	90
	(5)	旌表録の編修	94
	(6)	郷校の設置	97
4		陣屋焼失と郡奉行退任	101
		留守居物頭・町奉行・側用人時代	105
	1	藩主斉昭実現に奔走	105
	2	藩主斉昭の初帰国	107
	(1)	出迎え	107
	(2)	藩主斉昭への期待	109
	(3)	斉昭の瑞龍山墓参	110
3		町役所の改革	111
4		国家(藩)への忠誠——献策と実践——	113

3	楓軒の倅……………	141
(2)	村上量弘の「水戸見聞録」……………	140
(1)	『水戸歴世譚』……………	139
2	藩主斉昭の訪問……………	139
1	隠居依願……………	137
	五 楓軒の晩年……………	137
(6)	藩主斉昭と藤田東湖……………	135
(5)	天保の飢饉……………	132
(4)	土着と学校建設……………	130
(3)	検地……………	129
(2)	郡制の改革……………	127
(1)	育子策……………	126
5	天保改革への対応……………	126
(2)	松戸川(江戸川)川舟争闘一件……………	119
(1)	海防策……………	114

おわりに	153
小宮山楓軒関係略年表	147
(1) 門人石川儀兵衛清秋の回想	142
(2) 門人友部好正述	144
(3) 実弟入江正身述	145
(4) 紅葉郡方川上篤倫述	145
(5) 頌徳碑の建立	146